

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～27	日 本 史	28～43
世 界 史	44～62	地 理	64～76
数 学	78～83		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

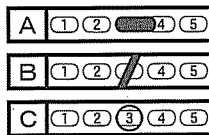
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(日 本 史)

〔I〕 つぎのA～Cの文を読んで、下記の問いに答えよ。

A 称徳天皇の没後、770年に光仁天皇が即位した。これによって天皇の血統は [1] 天皇の子孫から [2] 天皇の子孫へと移ることとなった。光仁天皇は財政の緊縮に努めるとともに、地方政治の肅正をはかるなど国家財政を再建し、律令制を再編するための政策を行った。

光仁天皇と渡来系氏族の出身とされる高野新笠との間に生まれた桓武天皇は、781年に即位して光仁天皇の政策を受け継ぐとともに、新たな都づくりにも乗り出した。桓武天皇は仏教政治の弊害を脱し天皇の権力を強化することを目指して、784年に平城京から山背国の長岡京に都を移したが、造宮事業を中心に担った藤原 [i] 出身の藤原種継が射殺される事件が起こり、連座した早良親王が廃太子され亡くなるなど新都造営にも政治にも混乱が生じた。こうしたことから794年、桓武天皇は山背国葛野郡に再遷都し、山背国を山城国と改めるとともに、都を^a平安京と名付けたのである。

桓武天皇は律令体制を^aたてなおすため、各種の改革を行った。軍事制度においては旧来の軍団を基本的に廃止し、郡司の子弟で弓馬の術に巧みな者を集めて健児とすることとした。また、国司交替の事務を審査監督する勘解由使を新設した。さらに貴族や寺院による山林原野の占拠を禁じるとともに、^b雑徭を半減し、6年ごとの班田を12年ごとに改めるなど公地公民制の維持をめざした。

東北地方の蝦夷に対しては征東大使となった [5] や征夷大將軍となった [6] などを相次いで派遣して征討と帰順の両面からなる政策を進めた。802年に [6] は胆沢城を築いて鎮守府を多賀城から移し、その一方で、阿弋流為を帰順させ、翌年には志波城を築城して東北経営の拠点を北に広げた。

B 806年に桓武天皇の後継となったのは平城天皇であったが、天皇の寵愛を受けた藤原葉子が兄の [7] と共に権勢をふるうようになる。809年に平城

天皇は退位し、弟の嵯峨天皇が即位した。平城天皇の息子の高岳親王が皇太子とされたが、平城太上天皇は嵯峨天皇と対立するようになった。平城太上天皇は平城京への再遷都をめざしたが、嵯峨天皇が先手を打って [6] 率いる兵を動かしたために政変は失敗し、その結果 [7] は殺され、葉子は自害した。

嵯峨天皇は藤原 [ii] 出身の [8] を蔵人頭^dに任命し、天皇の命令をすみやかに太政官組織に伝える仕組みを整えた。また、平安京内の警察組織として検非違使も設置した。

C [8] の子である良房は、藤原 [ii] の勢力を伸ばすことにつとめ、842年の承和の変の際に伴氏や橘氏らを退けた。858年に清和天皇を即位させた良房は、天皇の外祖父として政治の実権を握り、藤原氏の政治的な地位を高めた。次いで866年の応天門の変においては伴氏や紀氏を没落させ、臣下としてはじめて正式に摂政となった。良房の養子である基経は884年に光孝天皇を擁して関白に就任し、887年には [3] 天皇から関白の詔を得る際に阿衡の紛議を起し、関白の政治的地位を確立するとともに藤原氏が国政を独占する道をひらいた。

[3] 天皇は藤原氏を外戚としなかったことから、基経の死後に摂政・関白をおかずに菅原道真を重用したが、 [4] 天皇の時に [9] は道真を大宰権帥に左遷させ、政界から追放した。 [4] 天皇も摂政・関白を置かずに律令体制の復興を目指す政治を行い、その子の村上天皇も親政を行ったため、この時代は「延喜・天曆の治」と後にたたえられたが、両天皇の間の時期には [10] ^fが摂政・関白をつとめて実権を握っていた。969年に [4] 天皇の皇子で左大臣の源高明が左遷されると、藤原 [ii] の勢力は絶大なものとなり、摂政・関白がほぼ常置されるようになって、その地位には [10] の子孫がつくこととなったのである。

日本史

問1 文中の空欄 ～ にあてはまる天皇の名としてもっとも適切なものを、以下のア～クのなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| ア 醍醐 | イ 淳仁 | ウ 文徳 | エ 天武 |
| オ 元正 | カ 宇多 | キ 淳和 | ク 天智 |

問2 文中の空欄 にあてはまる語句としてもっとも適切なものを、以下のア～エのなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| ア 南家 | イ 北家 | ウ 京家 | エ 式家 |
|------|------|------|------|

問3 下線部 a について、平安京に関連する記述として誤っているものはどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 平安京内には西鴻臚館と東鴻臚館が置かれた。
- イ 平安京内には北市と南市が置かれた。
- ウ 平安京内には東寺と西寺が建立された。
- エ 平城京の諸寺院が平安京に移転することはなかった。

問4 下線部 b について、律令規定における雑徭に関する記述として正しいものはどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 正丁および次丁には雑徭として年間60日以下の労役を課した。
- イ 兵役についた者であっても雑徭は免除されなかった。
- ウ 中男には雑徭として年間15日以下の労役を課した。
- エ 布2丈6尺を国衝に納めれば雑徭10日分が免除された。

問5 文中の空欄 ～ にあてはまる人名としてもっとも適切なものを、以下のア～シのなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|----------|--------|
| ア 大伴家持 | イ 藤原保則 | ウ 藤原冬嗣 |
| エ 藤原時平 | オ 坂上田村麻呂 | カ 小野春風 |
| キ 在原業平 | ク 紀古佐美 | ケ 藤原忠平 |
| コ 文室綿麻呂 | サ 藤原仲成 | シ 藤原広嗣 |

問6 下線部cについて、嵯峨天皇が編纂再開を命じて820年に成立した、律令の追加・修正法をまとめた法令集とは何か。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 延喜格 イ 弘仁格 ウ 貞観格 エ 類聚三代格

問7 下線部dについて、藏人頭は大宝律令に規定のない令外官である。つぎのうち令外官はどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 大納言 イ 中納言 ウ 少納言 エ 右大臣

問8 下線部eについて、承和の変とその結果に関する記述として正しいものはどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 伴健岑・橘逸勢らが謀反を企てたとされ、健岑は隱岐に、逸勢は伊豆にそれぞれ配流された。
- イ 皇太子であった阿保親王が廃された。
- ウ 謀反の動きを密告したのは平城天皇の子にあたる恒貞親王であった。
- エ この変の後に皇太子となったのは、良房の妹の子にあたる道康親王で、後の陽成天皇である。

日本史

問9 下線部 f に関連して、この時期についての記述として誤っているものはどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 本朝(皇朝)十二銭の最後として、乾元大宝が発行された。
- イ 六国史の最後にあたる『日本三代実録』の編纂が行われた。
- ウ 延久の荘園整理令が出された。
- エ 『古今和歌集』の編纂が行われた。

〔Ⅱ〕 中世の地方支配に関する次の史料と続く解説文を読んで、下記の問いに答えよ。

同じく守護人非法の条々 同日

一 大犯三箇条(付けたり。 ・)の外、所務以下に相締あひひらひ、
 御家人の煩ひを成す事。

一 公役対捍と号し、凶徒与同と称して、左右無く同所領を管領せしめ、恥辱を
 与へ牢籠に及ぶ事。

(中略)

一 請所と号し、名字を他人に仮り、本所寺社領を知行せしむる事。

一 国司領家の年貢の讎納と称し、仏神用の催促と号して、使者を所々に放ち入
 れ、民屋を追捕する事。

一 兵糧米借用と号し、土民の財産を責め取る事。

(中略)

以前の条々、非法張行の由、近年普く風聞す。一事たりと雖も違犯の儀有らば、
 忽ち守護職を改易すべし。若し正員存知せず、代官の結構たるの条、蹤跡分明しょうせき
 ならば、則ち彼の所領を召し上ぐべし。所帯無くば、遠流の刑に処すべし。

()

この史料は南北朝期の法令の一部であるが、本来限定されていた守護の権限が、
 鎌倉時代末期以来の拡大によって、より強固になっていったことを受けて、それ
 をあらためて制限するために設けられたものである。しかし現実には南北朝期^b
動乱のなか、国内支配の権限はさらに強まり、国衙の権能すら吸収していった。

日本史

問1 空欄 ～ にあてはまるもっとも適切な語を、以下の1～17のなかからそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。なお はこの史料の出典である。

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1 代官 | 2 地頭 | 3 荘官 |
| 4 名主 | 5 天下布武 | 6 守護請 |
| 7 使節遵行 | 8 半済 | 9 朝貢貿易 |
| 10 悪党成敗 | 11 荊田狼藉 | 12 御成敗式目 |
| 13 延喜式 | 14 建武式目 | 15 建武以来追加 |
| 16 吾妻鏡 | 17 玉葉 | |

問2 下線部 a の大犯三箇条についての以下の1～5の説明のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- 1 御成敗式目では、夜討・強盗・山賊・海賊の検断が付記された。
- 2 守護の基本的職権で、大番催促、謀叛人の逮捕、殺害人の逮捕をいう。
- 3 大番催促とは、一般に、鎌倉警備を勤仕するよう御家人に催促する権限である。
- 4 御成敗式目では、源頼朝時代に定められたとされている。
- 5 御家人による大番催促は鎌倉幕府の滅亡とともに無実化していった。

問3 下線部 b に関して、南北朝期の守護の権限の拡大について80字以内で論述せよ。なお歴史的事項については、漢字で答えること。また句読点は1字分とし、西暦などの算用数字は2桁を1字分として記入せよ。

下書き用(横書き, 20字×4行=80字)→

〔Ⅲ〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

徳川家康は、 が敗死した後に、三河に加えて駿河・遠江をも統治し、豊臣秀吉の政権下で勢力をのばした。1590(天正18)年、秀吉から 降伏後の関東の地を与えられ、約250万石の領地を支配する大名となった。五大老筆頭¹の地位にあった家康は、次第に政治の実権を握るようになった。そのため、豊臣氏に強い忠誠心を抱く五奉行の一人であった石田三成と対立した。両者は1600(慶長5)年に美濃の関ヶ原で戦った。

勝利した家康は三成側の諸大名を処分し、1603(慶長8)年、征夷大將軍の宣下を受け、幕府を²開いた。家康は全国の諸大名に対し江戸城と城下町の普請、ならびに国単位での国絵図と の作成とを命じた。³しかし、大坂城には父秀吉以来の権力を継承した豊臣秀頼がおり、今なお豊臣の家臣達や諸大名に絶大な影響を及ぼしていた。

1605(慶長10)年、家康は將軍職が徳川家の世襲であることを示すために、わずか2年で子の徳川秀忠に將軍職を譲り、自らは大御所として で実権を握った。家康は、なお大坂城にいる豊臣秀頼に不安を感じ、秀頼が再建した にある鐘銘を口実⁴に戦をおこし、豊臣秀頼を滅ぼした。

1615(元和元)年、江戸幕府は、大名の居城を一つに限り、武家諸法度を制定して大名を厳しく統制した。2代將軍徳川秀忠は、1623(元和9)年には、將軍職を子の徳川家光に譲り、江戸幕府の権力基盤はこの時期に固まった。將軍は、旗本・御家人という直属の家臣団をかかえ、諸大名をはるかにしのぐ強大な権力をもった。財政面でも、幕府による直轄領があり、全国の主要な鉱山なども直轄にし、江戸・大坂・京都などの重要都市もおさえた。⁵⁶

江戸時代は多くの城下町がつくられた。城下町では、城郭を都市の核とし、身分ごとに居住地域が区分された。城主に仕える家臣団の屋敷がおかれた場所が武家地である。寺社地には有力な寺や神社が集められた。町人地⁸は、商人や手工業者が居住し、経済の中心地として重要な位置を占めた。なかでも江戸は「將軍のお膝元」⁹であり、17世紀後半には巨大城下町に発展した。

日本史

問1 空欄 にあてはまる人名の組み合わせとして正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア a 今川義元 b 武田信玄 イ a 北条氏政 b 上杉謙信
ウ a 武田信玄 b 上杉謙信 エ a 今川義元 b 北条氏政

問2 下線部1に関して、五大老ではない人物を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 宇喜多秀家 イ 浅野長政 ウ 前田利家 エ 毛利輝元

問3 下線部2に関して、関ヶ原の戦いで石田三成側について兵を挙げたが敗れ、米沢30万石に減封された人物を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 伊達政宗 イ 島津義弘 ウ 上杉景勝 エ 小早川隆景

問4 下線部3について、江戸城に関する説明として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 徳川家康は1601年に江戸城大手前に銀座を設置した。
イ 江戸城は1457年に太田道灌が築城した城である。
ウ 江戸城の天守閣は1931年に復興したものである。
エ 徳川家康は1603年に江戸城で將軍宣下をうけた。

問5 空欄 について、国絵図とともに作成して提出された帳簿の名前として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 郷帳 イ 水帳 ウ 宗門改帳 エ 計帳

問6 空欄 について、徳川家康が隠居し、大御所として実権を握った拠点である城名を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 二条城 イ 伏見城 ウ 江戸城 エ 駿府城

問7 空欄 について、豊臣秀頼が再建した寺の名前として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 東大寺 イ 方広寺 ウ 本願寺 エ 妙法寺

問8 下線部4について、3代将軍徳川家光の将軍在任期間に行われていないことを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 田畑永代売買の禁止令をだした。
イ ポルトガル船の来航を禁止した。
ウ 参勤交代を制度化した。
エ 末期養子の禁止を緩和した。

問9 下線部5について、江戸幕府の直轄地ではない地域を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 下田(伊豆) イ 小田原(相模)
ウ 堺(和泉) エ 山田(伊勢)

問10 下線部6について、幕府の直轄ではない鉱山を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 生野銀山 イ 足尾銅山 ウ 尾去沢銅山 エ 相川金山

日本史

問11 下線部7について、17世紀後半ころ、江戸・大坂・京都に呉服店や両替店をだし、「現金かけねなし」という新しい商法で大商人に成長した伊勢松坂出身の人物を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 淀屋辰五郎

イ 鴻池善右衛門

ウ 三井高利

エ 紀伊国屋文左衛門

問12 下線部8について、町と町人について説明した文章として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 江戸の町方支配を担った者のなかに惣年寄がいた。

イ 町人地には、^{ちょう}町という共同体が存在した。

ウ 町内には町屋敷をもつ家持町人がいた。

エ 町には地借、借家・店借、奉公人なども居住した。

問13 下線部9に関連して、17世紀後半の江戸に起こった事件について述べた文章として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 富士山が大噴火し、江戸市中にも灰が降り積もった。

イ 振袖火事により、江戸城の本丸が焼失した。

ウ 浅間山が大噴火し、江戸市中にも灰が降り積もった。

エ 大塩平八郎が貧民救済のために武装蜂起した。

〔IV〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

昭和恐慌は企業経営を悪化させ、大量の失業者を生んだが、犬養毅内閣がとつた施策^aの効果もあり、日本経済は徐々に回復していった。景気は好転し、1930年代の日本では産業構造の重化学工業化が進行した。しかし、盧溝橋事件を契機として日中戦争が始まると、経済は徐々に戦時体制の様相を強めていった。中国との戦争を支えるために巨額の予算が策定され、経済の統制も行われた。資金や資材は、企画院が策定した物資動員計画にもとづき、軍需産業に優先的に配分された。こうした中で、新興財閥や既成財閥は軍需品の生産を積極的に行い、巨大な利益を得た。一方で、民需品の生産は制限され、国民生活は統制経済の影響を受けるようになった。^f

軍需品生産のための資材や重要な資源の入手はしだいに困難になっていったが、日本政府は南方進出によりそれらを確保しようとした。戦争の進展につれて食糧の増産も重要な課題となり、政府はそのための施策を実行した。^h

問1 下線部 a に関連して、下記の問いに答えよ。

(1) 1920年代後半から犬養毅内閣成立までにとられた財政金融や経済産業に関する政策についての記述として誤っているものを、以下のア～エのなかからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 浜口雄幸内閣は、井上準之助蔵相の下でデフレ政策をとり、金輸出を解禁した。

イ 若槻礼次郎内閣の下で、台湾銀行を救済するための日本銀行特別融資が実施された。

ウ 金融恐慌を鎮めるために、田中義一内閣の下で、日本で初めて支払猶予令が発令された。

エ 浜口雄幸内閣の下で、重要産業統制法が制定され、カルテルの結成が促進された。

日本史

(2) 犬養毅内閣成立以降にとられた財政金融や経済産業に関する政策についての記述として誤っているものを、以下のア～エのなかからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 犬養毅内閣の下で金輸出が禁止され、日本は管理通貨制度に移行した。

イ 広田弘毅内閣の下で、円の兌換が再開され、為替相場が円高基調になった。

ウ 犬養毅、斎藤実、岡田啓介各内閣で蔵相を務めた高橋是清は、赤字国債を日銀に引き受けさせ、軍事費増大や時局匡救事業のための財源を調達した。

エ 広田弘毅内閣は、財政の膨張を抑えるために軍事費の拡張を認めなかったため、軍部の反発をまねき、短命に終わった。

問2 下線部bに関連して、下記の問いに答えよ。

(1) 第1次世界大戦のころの日本の経済・産業に関する記述として誤っているものを、以下のア～エのなかからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 南満州鉄道株式会社が設立され、中国での鉱山開発が始まった。

イ 海運業や造船業が発達し、多くの船成金が生まれた。

ウ 中国で繊維業を営む在華紡が増加した。

エ 日産が自動車の生産を開始し、GMやフォード社が日本から撤退した。

(2) 昭和恐慌後の日本の経済・産業に関する記述として誤っているものを、以下のア～エのなかからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 製鉄会社の大合同の結果、日本製鉄会社が設立され、鋼材の国内自給が達成された。

イ 円安を利用して絹織物の輸出が増加し、イギリスを抜いて世界1位の輸出国になった。

ウ 綿花やくず鉄について、米国からの輸入への依存が強まった。

エ 1930年代前半に、重化学工業が工業生産額の過半を占めるようになった。

問3 下線部cに関連して、日中戦争が始まったときの内閣の下で制定された法令として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 臨時資金調整法
- イ 電力国家管理法
- ウ 輸出入品等臨時措置法
- エ 企業合理化促進法

問4 下線部dに関連して、下記の問いに答えよ。

(1) 新興財閥名と、それに関連の深い人物の組み合わせとして誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 日産コンツェルンと鮎川義介
- イ 日窒コンツェルンと久原房之助
- ウ 理研コンツェルンと大河内正敏
- エ 日曹コンツェルンと中野友礼

(2) 新興財閥に関する記述として誤っているものを、以下のア～エのなかからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 日窒コンツェルンは、朝鮮北部に水力発電所と化学コンビナートを建設した。
- イ 新興財閥は、重化学工業を事業の中心とし、軍部と結びつき成長した。
- ウ 既成財閥と同様に、新興財閥には、独自の金融機関を持つものが多かった。
- エ 森コンツェルンが設立した昭和電工が、太平洋戦争後に起こした収賄事件により、片山哲内閣は短命に終わった。

日本史

問5 下線部 e に関連して、下記の問いに答えよ。

(1) 既成財閥に関する記述として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 既成財閥には、政商から財閥へと成長したものが多かった。

イ 三菱財閥は、立憲政友会と強い関係を持っていた。

ウ 三井財閥は、三井合名会社を持株会社としてコンツェルンを形成した。

エ 別子銅山の経営を中心に発展した住友財閥は、住友合資会社を持株会社とした。

(2) 太平洋戦争後に行われた財閥解体に関する記述として誤っているものを、以下のア～エのなかからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 持株会社整理委員会により15の財閥の資産が凍結され、財閥の中核である持株会社や銀行が解体された。

イ 過度経済力集中排除法により、カルテルやトラストが禁止された。

ウ 独占禁止法により、持株会社の設立が禁止された。

エ 過度経済力集中排除法にもとづき、三菱重工業など20を超える巨大独占企業が分割された。

問6 下線部 f に関連して、このころに始まる国民生活の統制に関する記述として誤っているものを、以下のア～エのなかからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 国内向けの綿製品の生産・販売が禁止された。

イ 農村への買出しや物々交換が禁止された。

ウ 七・七禁令により、高級衣料などのぜいたく品の生産・販売が禁止された。

エ 郵便貯金や国債の購入が禁止された。

問7 下線部 g に関連して、日本の南方進出に対抗してアメリカが実施した措置として誤っているものを、以下のア～エのなかからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 在米日本人の資産凍結
- イ ABCD 包囲陣への不参加
- ウ 日本への石油輸出の禁止
- エ 日米修好通商条約の破棄

問8 下線部 h に関連して、このころの農業政策に関して述べた文 1・2 を読み、つづく指示にしたがって、その記号を解答欄にマークせよ。

- 1 政府による米の強制的な買い上げが実施された。
- 2 農業生産を拡大するために、小作料引き上げの放任など、地主保護の政策がとられた。

- | |
|--|
| <p>1・2 がいずれも正しい場合は、アをマークせよ。</p> <p>1 が正しくて 2 が誤っている場合は、イをマークせよ。</p> <p>1 が誤っていて 2 が正しい場合は、ウをマークせよ。</p> <p>1・2 がいずれも誤っている場合は、エをマークせよ。</p> |
|--|